

社会資本総合整備計画

平成28年10月11日

計画の名称	36. 道路交通の円滑化、安全性・快適性の向上を図る市町村道整備（防災・安全）			重点計画の該当
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	小竹町、みやま市、鞍手町、宇美町、岡垣町、嘉麻市、久山町、桂川町、古賀市、広川町、行橋市、糸島市、宗像市、小郡市、上毛町、新宮町、赤村、太宰府市、大牟田市、大野城市、筑後市、中間市、朝倉市、直方市、粕屋町、八女市、福智町、豊前市、柳川市、香春町、遠賀町、筑紫野市、芦屋町、苅田町、宮若市、志免町、糸田町、須恵町、水巻町、大川市、大刀洗町、大任町、大木町、築上町、筑前町、添田町、田川市、那珂川町、飯塚市、川崎町、うきは市、春日市、福津市、みやこ町、東峰村	
計画の目標	<p>これまで市民生活を支えてきた生活道路は、交通量の増加や車両の大型化等により、自動車交通・歩行者等の安全性が損なわれている。特に、通学路においては、児童、生徒が危険にさらされている状況である。このような問題を解決するため、通学路を基本とする生活道路において道路改良を実施することにより、市民の安全安心かつ快適な交通環境を確保し、生活空間の安全確保を図る。また、道路施設の適確な維持管理を推進するため、舗装、法面、その他の道路附属物等の道路施設の「点検」と、「点検」に基づく計画的な「修繕」、「更新」等の対策を実施することにより、生活空間の安全確保を図る。</p>			

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 市町村道の整備率向上 「修繕」、「更新」等が必要な道路施設に対し、「修繕」「更新」等を実施しに道路施設の割合の向上
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	
・市町村道整備率（％）＝（通学路を基本とする生活道路整備計画延長）／（整備事業実施市町村の通学路を基本とする生活道路の整備済延長）	0%	50%	100%	<ul style="list-style-type: none"> （九州国防圏地帯特定自立圏共生ビジョン）に基づき実施される要素事業：A=3,206,207,220,257,424 （久留米広域連携中核都市圏ビジョン）に基づき実施される要素事業：A=41,616,170,151,152,153,155,157,161,170,194,195,197,198,222,272,273,335,307,308,432,433,434,435,436,437
・点検実施率（％）＝（「点検」を実施した道路施設数）／（「点検」が必要な道路施設数）	0%		100%	<ul style="list-style-type: none"> （八女市特定自立圏共生ビジョン）に基づき実施される要素事業：A=227,248,276,337,429,C=36 （第2次有明圏特定自立圏共生ビジョン）に基づき実施される要素事業：A=2,203,35,31,208,305,306,359,357,448
・「修繕」、「更新」等の対策実施率（％）＝（「修繕」、「更新」等の対策を実施した道路施設数）／（「修繕」、「更新」等の対策が必要な道路施設数）	0%		100%	<ul style="list-style-type: none"> （北九州都市圏域連携中核都市圏ビジョン）に基づき実施される要素事業：A=3,628,72,174,175,200,206,207,220,225,257,262,273,265,267,290,292,293,294,295,297,321,322,323,326,334,344,345,346,353,352,363,364,365,366,367,368,369,370,374,382,383,384,385,386,387,388,392,414,415,416,417,418,419,420,422,424,440,444,445,446

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	24,098百万円	A	22,595百万円	B	—	C	1,503百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	6.2%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	---	---	----------	---	------	-----------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	平成31年3月
交付対象団体に評価を実施	公表の方法	交付対象団体のホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 河川事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
36-A1	道路	一般	みやま市	直接	みやま市	市町村道	改築	(1) 下庄・上小川・南大木線・みやま市工区	バイパス L=0.59km	みやま市						265	—	
36-A2	道路	一般	みやま市	直接	みやま市	市町村道	交安	(他) 追分・野内線・みやま市工区	現道拡幅 L=0.56km	みやま市						217	—	
36-A3	道路	一般	豊前市	直接	豊前市	市町村道	交安	(2) 大村・大西線・豊前市工区	現道拡幅 L=0.397km	豊前市						280	—	
36-A4	道路	一般	行橋市	直接	行橋市	市町村道	改築	(他) 大溝・豊後田線・行橋市工区	現道拡幅 L=0.16km	行橋市						41	—	
36-A5	道路	一般	行橋市	直接	行橋市	市町村道	改築	(他) 田・辻畑線・行橋市工区	現道拡幅 L=0.18km	行橋市						97	—	
36-A6	道路	一般	行橋市	直接	行橋市	市町村道	交安	(他) 広ワラ・上花松線・行橋市工区	現道拡幅 L=0.77km	行橋市						125	—	
36-A7	道路	一般	朝倉市	直接	朝倉市	市町村道	改築	(他) 池田・久喜宮線・朝倉市工区	現道拡幅 L=1.5km	朝倉市						250	—	
36-A8	道路	一般	朝倉市	直接	朝倉市	市町村道	改築	(他) 丸山団地1号線他6路線・朝倉市工区	現道拡幅 L=0.85km	朝倉市						90	—	
36-A9	道路	一般	朝倉市	直接	朝倉市	市町村道	交安	(2) 鎌崎・町線・朝倉市工区	現道拡幅 L=0.185km	朝倉市						73	—	
36-A10	道路	一般	筑後市	直接	筑後市	市町村道	交安	(2) 赤坂療養所線・筑後市工区	現道拡幅 L=0.36km	筑後市						252	—	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・通学路を基本とする生活道路において道路改良を実施したことにより、市民の安全安心かつ快適な交通環境を確保することができた。 ・舗装、法面、その他の道路附属物等の道路施設の「点検」と、「点検」に基づく計画的な「修繕」、「更新」等の対策を実施したことにより、生活空間の安全を確保した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（市町村道整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・改良費に対しての予算の確保に苦慮し、計画どおり工事を行うことができなかった。 ・当初見込みより事業費が増加したため。
		最終実績値	88%		
	指標②（点検実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標③（「修繕」、「更新」の対策実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費に対しての予算の確保に苦慮し、計画どおり工事を行うことができなかった。 ・当初見込みより事業費が増加したため。 ・計画策定後に、優先順位の高い路線が判明したため、当初計画路線に対し未着手の路線が発生した。
		最終実績値	88%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな社会資本総合整備計画「道路交通の円滑化、安全性・快適性の向上を図る市町村道整備（防災・安全）」により、引き続き事業を実施している。 					

(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面

